



ぽっぽ屋



輸送サービス労組 東京支部

2023.12.4
No. 046

現場丸投げ体質の経営姿勢により

NO. 2

事故は起きるべきして起きた！

～京浜東北線 大森駅停車駅通過発生～

乗務員に周知なし！

管理者も全容は把握できていない管理体制！

11月30日に発生した、今後ATOの導入に伴う調査による京浜東北線大森駅停止位置不良による停車駅通過について様々な問題が浮き彫りになった。

- ・現場の管理者は今回の調査が現場で行われていること自体は把握しているが、いつ・どこで・どのように調査をされているかは把握しておらず、すべて専門的な社員に任せっきりになっている。
- ・調査をしていることは乗務員には周知しておらず当日の乗務直前、担当運転士に口頭で調査のため協力を依頼している。(当該列車の車掌は一切調査については説明はなし)

～当該職場の声～

- ・どこが中心になって今回の調査が行われたかわからないが通常は試運転列車を走らせ調査するのではないか？
- ・お客さまに迷惑をかけたのは事実である！
- ・PT や委員会では今回の調査が行われたと思うが、誰が今回の責任を取るのか？責任が取れる立場でない人たちだけでやる調査ではない。
- ・効率化や金儲けのためならお客さまに迷惑をかけてもいいのか？

東京支部は現場と地本と連携し

会社の現実把握の脆弱性を是正させていく！